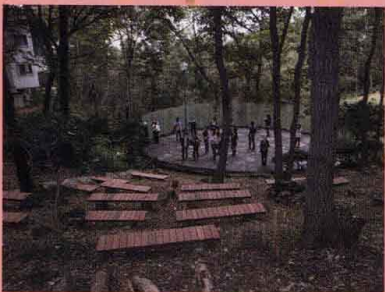


# ぐるぐるつくる 大学セミナー・ハウス

## 大学セミナー・ハウス 再生募金 支援のお願い



八王子の多摩丘陵に建つ、大学セミナー・ハウスは建築家、吉阪隆正の代表作で、DOCOMOMO 20 選にも選ばれています。1965 年に本館、宿泊施設など第一期の計画が完成してから八期にわたりいくつもの施設が生まれ、多くの学生、社会人が利用してきました。地形を活かした建築群が吉阪の設計理念を伝えています。

しかし、40 周年を迎えた昨年は、ユニットハウスが一部を残して取り壊されて大きく姿を変えました。現在、他の施設もメンテナンスが行き届かない危機的な状況にあり、利用者の減少など多くの課題を抱えています。

この度、有志が集まり「ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス」の活動を立ち上げました。周辺整備やメンテナンスなどをサポートするワークキャンプを行い、学生や社会人がつくることに参加しながら、シンポジウムやレクチャーを通じて、この建築群の設計思想に触れ、次の世代につなげる活動を進めていきます。

また、傷みの激しいユニットハウスの再生、遠来荘の維持、松下館の屋根の補修、茅橋や手摺りの塗装、道の整備などメンテナンスをサポートするための募金を立ち上げました。

大学セミナー・ハウスの建築や設計思想を未来へつなぐ募金へのご支援、ご協力をお願いいたします。



「ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス」の活動

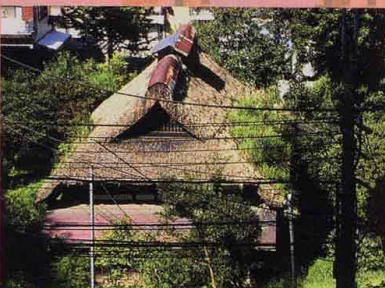
1. サポートネットワークの構築  
大学セミナー・ハウスの建築理念を生かすためのメンテナンス計画をサポートする。
2. メンテナンス募金の立ち上げ  
日常的な運営とは別に、遠来荘屋根葺き替え、茅橋の塗装、屋外の整備など収益の上がらない施設のメンテナンスに活用できる独立した資金を確保するための募金活動。
3. 新たな利用、活動の提案  
建築関係の大学、社会人に呼びかけるなど、利用率を上げることで施設を守ることに繋げる。
4. 年2回のワークキャンプ  
春と秋にシンポジウムとメンテナンスのワークキャンプを企画。

大学セミナー・ハウス ワークキャンプ実行委員会

栗野寿朗、北田英治、倉方俊輔、小林滋、齊藤祐子、志岐祐一  
田中茂、長谷川康孝 (有志参加・2006年9月現在)

事務局：SITE (担当：田中 茂 e-mail: s\_tanaka@tkg.att.ne.jp)  
〒164-0003 東京都中野区東中野 2-25-6 パオコムバウンド 701  
tel/fax.03-3371-2433 <http://homepage3.nifty.com/atelier-site/>

大学セミナー・ハウス  
東京都八王子市下柚木 1987-1  
tel. 042-676-8511 fax. 042-676-1220  
<http://www.seminarhouse.or.jp>



写真上より

現在は取り壊されたユニットハウス越しに本館を望む、1995年/ユニットハウスが解体された後、現在はスラブも撤去され姿を消した/塗装が必要な手摺/第一回ワークキャンプでベンチを製作した野外ステージ・中、ベンチをつくる・右、グラウンドへの道を整備するワークキャンプのメンバー/残されたユニットハウス、40年経過したベニヤの壁/茅葺き屋根の傷みが激しい遠来荘は、移築された多摩の民家

ぐるぐるつくる  
大学セミナー・ハウス 再生募金

振込口座

ゲルゲルツクルダイガクセミナーハウス  
サイトウユウコ

三菱東京UFJ銀行 東中野支店  
普通預金 口座番号 1557550